かえるぱんだ

※５領域の視点

「健康・生活」

特定の時間を療育活動と設定し、スケジュール通り行動することを学ぶ。また調理や工作などの活動から、より多くの食品や素材に触れ、好き嫌いを低減しつつ生活を豊かにすることを図る。

「運動・感覚」

公園や教具を使用した遊びを通して、身体を大かす粗大運動を向上させつつ、工作や調理から微細運動への支援を行う。

「認知・行動」

集団で外出や活動を行い、外出や集団でのルールや行動を学び、その中から集団で過ごすための情緒の安定を学べるよう、スタッフからの声掛けなどの支援を行う。

「言語・コミュニケーション」

活動は基本的に集団で行い、他の児童との関わりを持てるようにし、適宜スタッフからの言葉かけなどの支援を導入しつつ、コミュニケーション力の向上を図る。

「人間関係・社会性」

遊びの中にスタッフも交わり、大人を通しての子ども同士の人間関係を構築し、人間関係の心地よさを体験できるよう働きかける。